

# 主人公

3月号 文責 久保茂樹

安堵中学校 校長通信 2022 (令和4) 年3月1日 (火)



## 「出会い」と「別れ」を繰り返しながら・・・

3年生の卒業が近づいてきました。でも今この時、3年生は最後の入試に向けて追い込み真っ最中で、感傷に浸っている暇はないかもしれませんね。

じわじわと「別れの寂しさ」が胸に迫ってくるのは10日の一般選抜学力検査を終えたあたりでしょうか・・・。

(1・2年生は来年・再来年を想像して読んで下さいね！)



### 「花に嵐のたとえもあるぞ、さよならだけが人生だ」

これは、井伏鱒二さんいぶせますじ（「山椒魚」さんしょうおで有名な小説家）が漢詩を和訳したものです。最初この言葉を聞いて「満開の花を一瞬にして吹き飛ばしてしまう嵐・・・なんてクールな考え方だ、別れだけが人生なんて淋しいなあ～」とっていました。しかし、この言葉には前述がありました。

「この杯さかずきを受けてくれ、どうか、なみなみ注がしておくれ、花に嵐の・・・」  
というものでした。つまり、「今こうしてあなたと向き合っている時間を共に楽しもう、そして大切にしよう、別れは必ずやってくるものだから・・・」と作者は読む人に訴えたかったのです。



コロナ禍にあったこの3年の間にも、先輩や後輩、先生方とのたくさんの出会いや別れがあったと思います。これから続く長い人生で繰り返される「出会い」と「別れ」、それは「喜び」と「悲しみ」でもあります。四季を繰り返すごとに強くたく成長する木々のように、まさに

### 出会いと別れが人を育て、強くする

みんなから見送られる3年生、それを見送る1年生と2年生そして私たち、そのどちらにも、1ヶ月後には新たな出会いがあるわけで・・・

今はもう「ありがとう、お元気で」の言葉しかありません！

いつかまたどこかで！

のです。



## 1. 届け！「**我道続進**」に込めた熱い思い！！

2月15日(火)の放課後、生徒会本部役員と先生方で、3年生に向けての応援垂れ幕を3階から掲示しました。風が強く、設置するのにかなり手惑いましたが、何とかお披露目できたと思ったのも、束の間…次の日の朝には、ほとんどの文字と模様が外れてしまいました。

3年生に「**自分が決めた道を突き進んで欲しい**」との思いを込め、時間をかけて制作してきただけに本当に残念な結果となりました。

3年生の皆さん、形にはならなかったけど、大切なのは気持ち。後輩たちの熱い思いだけはどうか受け取って欲しいと思います。



幻となってしまった垂れ幕

## 2. これからの予定 (令和4年3月～4月中旬)

3月 1日(火) 期末テスト(1・2年)③

3日(木) 公立一般出願(～4日)[3年家庭学習]

10日(木) 公立一般選抜学力検査[3年家庭学習]

11日(金) 3限給食後、式場準備

14日(月) 卒業式予行・3年生を送る会

15日(火) 第75回卒業証書授与式

16日(水) 公立一般合格発表

給食最終日

21日(月) 春分の日

24日(木) 修了式

公立二次検査

25日(金) 春期休業期間(～)

新入生向け物品販売

公立二次合格発表

注 あくまでも現時点での計画となっています！

4月 6日(水) 着任式、始業式

8日(金) 令和4年度入学式

12日(火) 全日授業開始、給食開始  
部活動紹介

13日(水) 身体測定

14日(木) 中央委員会・専門委員会

15日(金) PTA 新旧本部役員会  
・新旧理事会



※ 警報等が発令された場合や新型コロナウイルス感染症等の状況等により急遽予定を変更させていただくことがあります。特に大きな変更につきましては、Pメール等でお知らせさせていただきます。

## 3. 保護者の皆様へ



1年とはなんと早いものか…新型コロナが学校のあるべき姿どころか、社会そのものを変容させてしまってから2年が経過しました。お互いの表情が読み取りにくいマスクの着用、静まり返った給食の時間、触れ合うことを禁じるソーシャルディスタンス等、初めは異様に感じていた子供たちの様子もいつの間にか見慣れたものになってしまいました。

普段の授業だけでなく、いろんな行事が中止、縮小になる中で、ストレスを抱えながらも黙々と、前を向いて歩み続ける子供たち、その健気な姿に「私たちも下を向いているわけにはいかない」と何度も励まされてきた日々でした。

こうした子供たちを、影日向となり支え励まし続けて下さった保護者そして地域の皆さまに改めてお礼申し上げます。



※ 一年間ありがとうございました。次年度も安中はコロナに負けず歩み続けていきます！